



有限会社 オフィスコウセイ 環境活動レポート

(活動期間: 2023年10月～2024年9月)

2024年11月26日 発行
有限会社 オフィスコウセイ
代表取締役 石川 晃

1. 事業活動の概要

(1)事業者名及び代表者名

有限会社 オフィスコウセイ
代表取締役 石川 晃

(2)所在地

群馬県前橋市三俣町1-14-18

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者:本多 康裕
担当者 :浅川 真樹

連絡先 電話:027-231-8601 ファックス:027-212-8652

(4)事業内容

建設業・廃棄物収集運搬業・不動産業

(5)収集運搬廃棄物の種類

廃プラ、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、紙くず、木くず、繊維くず、ゴム屑、
金属くず、がれき類(石綿含有物を含む)燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、
感染性産業廃棄物、PCB汚染物

(6)許可番号一覧

種 類	許可番号	許可年月日	期 限
一般建設業許可 群馬県知事許可 とび・土工 解体工事 土木・屋根・大工・建築工事 タイルれんがブロック・ほ装 内装仕上げ・鋼構造物	(般-4)第22856号	令和4年4月27日	令和9年4月26日
産業廃棄物、収集運搬業許可 群馬県 特別管理産業廃棄物 埼玉県 東京都 栃木県 長野県 神奈川県 千葉県 新潟県 茨城県	01000143394 01050143394 01104143394 13-00-143394 00900143394 02009143394 01400143394 01200143394 01509143394 00801143394	平成30年7月31日 令和3年10月14日 令和5年10月16日 令和3年4月25日 令和6年3月18日 令和2年1月15日 令和3年10月27日 令和3年9月17日 令和6年12月2日 令和2年8月12日	令和8年10月23日 令和8年10月23日 令和10年8月27日 令和8年4月24日 令和11年3月17日 令和7年1月14日 令和8年8月3日 令和8年7月14日 令和11年12月22日 令和7年8月11日
処分業許可 前橋市 高崎市 群馬県	11420143394 11620143394 01020143394	令和4年8月9日 令和4年9月21日 令和4年10月24日	令和9年8月8日 令和9年9月20日 令和9年10月23日
一般廃棄物収集許可 前橋市 渋川市 桐生市	第267号 第126号 第 96号	令和6年9月11日 令和5年7月20日 令和5年7月1日	令和8年9月10日 令和7年7月19日 令和7年6月30日
宅地建物取引業許可 群馬県	知事(3)第7265号	令和6年6月6日	令和11年6月5日

(7)施設等の状況

1	群馬 810 せ 21	塵芥車	2,000	2tハッカー
2	群馬 400 ち 9113	ダンプ	2,000	2tユニック
3	前橋 400 す 8	ダンプ(Lゲート)	2,000	2tダンプ
4	群馬 410 ち 6	脱着装置付 コンテナ専用車	2,000	2tアーム
5	群馬 400 せ 7	脱着装置付 コンテナ専用車	3,000	3tアーム
6	前橋 410 に 15	脱着装置付 コンテナ専用車	3,000	3tアーム
7	前橋 110 そ 10	脱着装置付 コンテナ専用車	3,000	3tユニックアーム
8	前橋 110 す 19	脱着装置付 コンテナ専用車	9,500	9tアーム
9	前橋 110 な 11	ダンプ	8,000	大型ダンプ
10	前橋 100 さ 1	脱着装置付 コンテナ専用車	3,650	4tアーム
11	前橋 110 さ 2	脱着装置付 コンテナ専用車	3,650	4tアーム
12	群馬 110 と 5	脱着装置付 コンテナ専用車	3,600	4tアーム
13	前橋 110 せ 22	キャブオーバー	12,200	廻送車
14	前橋 410 ち 20	キャブオーバー	3,000	3tダンプ
15	前橋 410 た 17	ダンプ	3000	3tロング
16	群馬 880 り 195	冷凍冷蔵車		軽
17	群馬 880 あ 288	冷凍冷蔵車		軽
18	前橋 311 み 530	自家用		普通車
19	前橋 510 て 530	自家用		普通車
20	前橋 311 に 81	自家用		普通車
21	前橋 410 た 80	自家用		普通車

(8)処理の実績

受託した産業廃棄物の処理量(収集運搬) 917トン/年

(9)対象範囲(認証・登録範囲)

有限会社オフィスコウセイ 本社・本社資材センター・高崎支店
資材置場(小神明)・資材置場(小坂子)

株式会社ラピスリバー
株式会社officekosei Investment

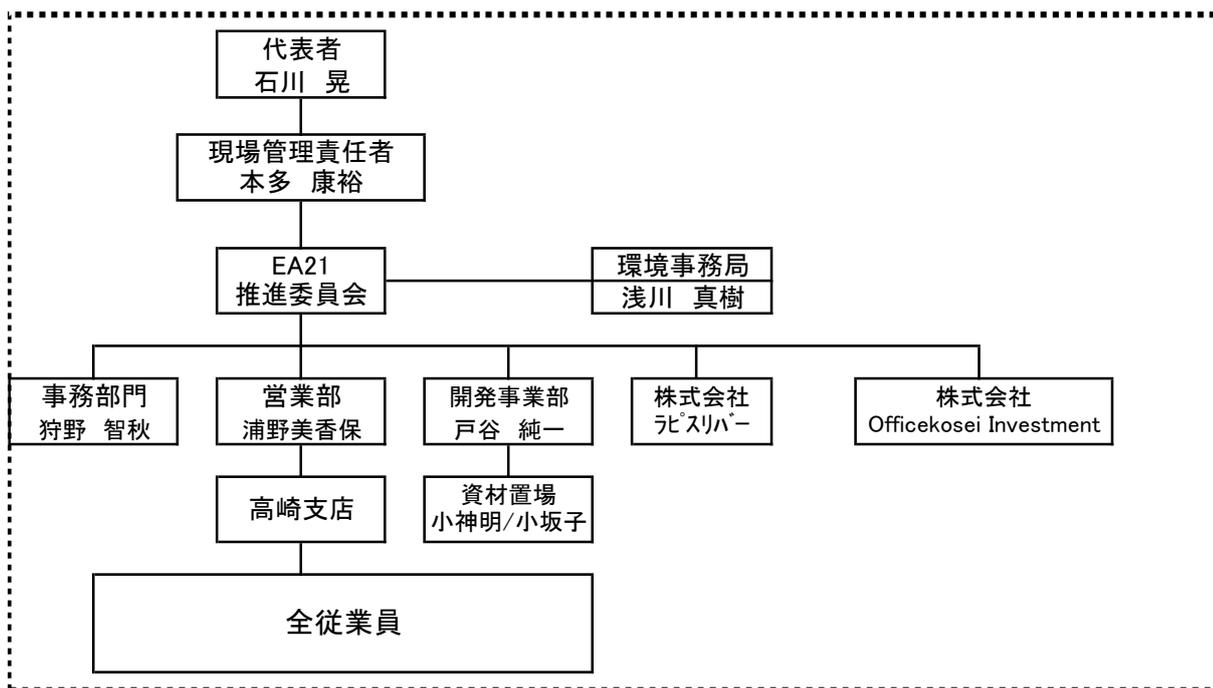
(10)法人設立年月日・資本金

平成17年10月5日 資本金:1,500万円

(11)事業の規模

売上高 7億円/年
従業員 23名
延べ床面積 217.04㎡

2. 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者 石川 晃	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 本多 康裕	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認
環境事務局 浅川 真樹	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長 戸谷 純一	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 主な環境負荷の実績

注:事業年度=10月~9月

項目	単位	2014年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		実績						
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	296,811	272,408	276,054	270,776	253,972	228,563	221,171
廃棄物排出量								
一般廃棄物	トン/年	1.49	1.34	1.44	1.32	1.35	1.32	1.21
産業廃棄物(現場)	トン/年	9,289	9,233	9,098	9,102	9,072	8,853	8,672
受託した産業廃棄物(収集運搬量)	トン/年	1,184	798	788	766	952	941	917
水使用量	m ³ /年	152	119	120	117	110	105	101

※二酸化炭素排出量を算出する際に用いた排出係数(0.53kg-CO2/kWh)

4. 環境目標とその実績・評価

項目	単位	2014年度	2023年度		実績	評価
		(基準年)	年度目標	実績		
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	296,811	基準年比 10%削減	265,012	221,171	○ 大きく目標を達成することができた。また、前年度に対し10%削減を図ることができた。
一般廃棄物	キロ/年	1,490		1,382	1,211	○ 裏紙使用ルールが大分浸透したように感じる
水使用量	m ³ /年	152		115	101	○ 節水の表示を徹底した。
事務用品グリーン購入	購入費当りのエコラベル商品購入費(%)	—	購入費の10%		15%	○ 従前から使用していた製品にもグリーン購入対象商品があった
生物多様性	10現場/月	—		120	126	○ 公共施設近辺ではシートにも気を配るようにした
顧客への提案	10現場/月	—		120	123	○ 工法に対する提案を心掛けた
地域活動	近隣清掃活動	—		12回	36	○ 事務所付近に限らず、現場近辺も行うようにした

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進する。

①3S活動の推進

作業現場の効率を向上させ施工品質の向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む。

②環境配慮工法の採用

工事に伴う環境負荷を低減するため、実施可能な環境配慮工法を探求する。

5. 主な活動計画の取り組み内容と結果

取組項目	活動計画の内容	達成状況	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度設定 事務所:夏季 28℃、冬季 20℃ ・エアコンフィルターの定期清掃 ・OA機器の不使用时、昼休みのスイッチオフ ・照明器具、エアコンフィルターの定期清掃 	○ ○ ○ ○
	軽油使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ10の実施 ・重機の不使用时のエンジン停止の徹底 ・車両メンテナンスの実施 	○ ○ ○
	ガソリン使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの実施 ・不使用时のエンジン停止の徹底 ・車両メンテナンスの実施 	○ ○ ○
廃棄物排出量	産業廃棄物最終処分量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・混廃の分別原則化(分別表示ルール化) ・顧客への分別化提案 	○ ○
	一般廃棄物最終処分量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・事務のペーパレス化推進 ・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減 ・社内文書の電子化 	○ ○ ○
総排水量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水ラベル貼付 	○	
事務用品のグリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品、環境推進商品の調査 ・エコマーク商品の優先購入(手順書化) 	○ ○	
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所周辺の定期清掃 	○	
生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・防音シート、養生シート、絶滅危惧種の有無の確認 	○	
顧客への提案	<ul style="list-style-type: none"> ・工事方法の工夫や法令遵守への提案 	○	

※達成状況評価 「◎」:よくできた 「○」:できた 「△」:あまりできなかった 「×」:できなかった

6. 次年度以降の目標と活動計画の取り組み内容

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	276,054	2019年度比 1%削減	2019年度比 2%削減	2019年度比 3%削減	2019年度比 4%削減	2019年度比 5%削減
一般廃棄物	キロ/年	1,440	2019年度比 1%削減	2019年度比 2%削減	2019年度比 3%削減	2019年度比 4%削減	2019年度比 5%削減
水使用量	m ³ /年	120	2019年度比 1%削減	2019年度比 2%削減	2019年度比 3%削減	2019年度比 4%削減	2019年度比 5%削減
事務用品グリーン購入	購入費当りのエコラベル商品購入費(%)	13%	15%	18%	20%	20%	20%
生物多様性	10現場/月	126	10現場/月以上	10現場/月以上	10現場/月以上	10現場/月以上	10現場/月以上
顧客への提案	10現場/月	124	10現場/月以上	10現場/月以上	10現場/月以上	10現場/月以上	10現場/月以上
地域活動	1回/月	36	1回/月以上	1回/月以上	1回/月以上	1回/月以上	1回/月以上

※活動計画の内容は、2019年度の活動計画の内容を2020年度以降も継続することとする

7. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬と処分の委託。管理票の管理、保管。	遵守
騒音規制法・騒音規制法	指定地域における建設作業と届出	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	遵守
道路交通法	道路上の交通の安全、危険の防止、障害の予防	遵守
道路法	道路における対象工事・作業の許可申請	遵守
道路運送車両法	車両の定期点検	遵守
家電リサイクル法	リサイクル処理の以来	遵守
フロン排出抑制法	施主に対する確認、対応。社内対象物の管理	遵守
グリーン購入法	環境指定の選択購入	遵守
PCB廃棄物特措法	施主への確認と自社内対象物への対応	遵守
労働安全衛生法	石綿含有物除去作業時の対応	遵守
ダイオキシン特措法	特定施設解体時のダイオキシン類への対応	遵守
PRTR法	特定建材使用の化学物質への対応	遵守

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありません。

8. 代表者の全体の評価と見直し

- ・二酸化炭素排出量については、若干ではあるが目標を達成することができた。
また、前年度に対し3%の削減を図ることができた。
今後も引き続き建設機械と車両のアイドルストップや省エネ運転の指導・促進を図って行くこととする。
- ・グリーン商品については、ネット通販で備品を購入することが多く、履歴からグリーン商品を選択することが増えている。
引き続き維持していきたい。
- ・排水量については、前年度同様、良好な結果であった。
- ・養生シート等は、前年度同様の使い分けを引き続き続けていきたい。

環境方針や目標の変更については、現状のままで続けていくことにする。
研修会やミーティング等において周知・徹底を図るなど、従業員の意識改革に勤め浸透しつつある。

環境経営方針

1 環境理念

私たちは、建設業・解体業ならびに廃棄物運搬業が環境に及ぼす多大な影響に憂慮し、地域住民の生活環境の保護はもとより、自然に住む多種多様な生き物の環境を尊重し、それらに配慮した事業を行うことを理念とします。

2 活動指針

解体・建設業ならびに廃棄物収集・運搬業が環境に与える影響を全従業員が考え、環境負荷を軽減するための取組を実行し、継続するよう不断の努力をします。

〈1〉二酸化炭素排出量の削減

(i) 電力使用量の削減

事務所内のエアコン設定温度を、夏季は28度C以上とし、冬季は20度C以下とします。

(ii) 燃料使用量の削減

エコドライブやアイドリングストップを心がけるよう従業員に周知し、実行します。また、使用重機のメンテナンスを定期的に行い燃費の向上に努めます。

〈2〉産業廃棄物のリサイクル化徹底化

解体現場で発生する産業廃棄物の分別及びリサイクル化の徹底で、埋め立て処理の削減

また、事務所で発生する一般廃棄物は、イントラネット等を活用しペーパーレス化を進めるとともに、FAX等は出来る限り裏紙にて対応し、削減する。

〈3〉水使用量の削減

洗面所等、水を使用する箇所に節水の表示を掲げ節水を促すとともに、洗車等に雨水を利用するよう心がけます。また、洗車等での使用水量を節約することとします。

(4) 生物多様性への配慮

工事の際に使用する塗料やアスファルト等の化学物質の使用を出来る限り削減して、環境に与える影響を抑え、地域に生息する多種多様な生物に配慮します。

(5) 顧客様に対する環境意識の喚起

工事受注の際には、環境に対する配慮を行うのはもちろんのこと、顧客様に対しても、出来る限り環境に配慮した工法を提案します。

(6) 環境関連法規の遵守

環境関連法や、条例・業界からの申し合わせ等、必要な範囲を遵守します。

(7) グリーン購入の促進

事務用品につきグリーン購入がどれだけ進んでいるかを確認するとともに、グリーン購入を促進し、将来的には使用資材についてもグリーン購入を推進します。

(8) 全社員の周知ならびに一般社会への開示

以上の活動指針を貫徹するため、全社員に対し周知し、活動指針に沿って行動するよう努めます。また一般社会へ開示します。

平成27年7月3日

有限会社 オフィスコウセイ

代表取締役 石川 晃